

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/> )

(GDP (IMF WEO) :<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/GDP.html> )

(MENA・イスラム圏:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MenaOicCountries.html> )

マイライブラリー:0375

(注)本稿は 2016 年 4 月 28 日から 5 月 3 日まで 5 回に分けて「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2016.5.8

前田 高行

### 世界主要国とMENAの GDP 成長率 ・ 一人当たり GDP(IMF 2016 年 4 月版)

目次	頁
1. 2016/17 年の経済成長率	
(1)世界および主要地域・国の経済成長率	2
(2)MENA 諸国の経済成長率	2
2. 前回(2015 年 10 月)と今回(2016 年 4 月)の比較	
(1)世界および主要地域・国	3
(2)MENA 諸国	3
3. 2016年の各国の名目 GDP	3
4. 2016年の一人当たり GDP	4
5. 世界および主要地域・国の GDP 成長率の推移(2013~2017年)	
(1)世界および主要な地域・国	6
(2)MENA諸国	6

IMF(国際通貨基金)では毎年 4 月および 10 月に世界各国の経済見通し「World Economic Outlook Database (WEO)」を発表しており、今年 4 月版(以下 WEO2016Apr)がインターネット上に公開された。

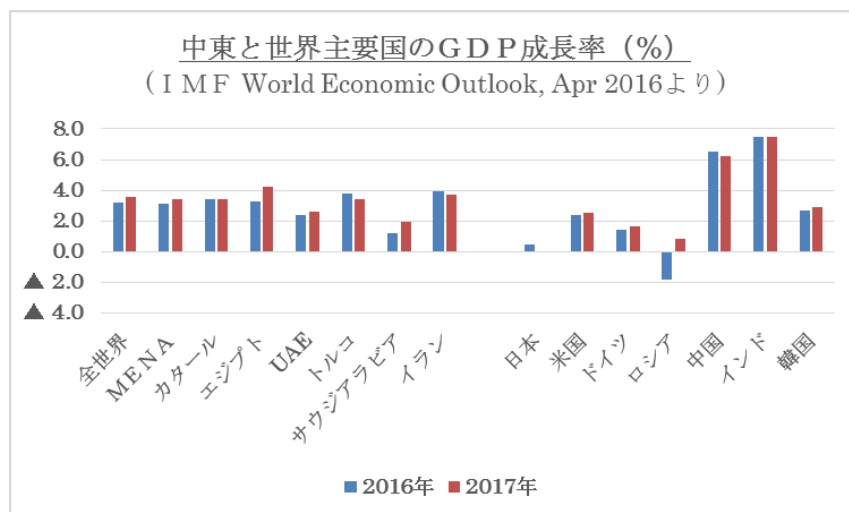
\* URL: <http://www.imf.org/external/pubs/ft/weo/2016/01/weodata/index.aspx>

この中には GDP 成長率、ドル建て・各国通貨建ての GDP 金額、一人当たり GDP、貿易額、財政収支など数多くのデータがあり、特に当年度或いは次年度の経済成長率は官庁、メディア等々で広く引用されている。

ここでは 2013 年から 2017 年までの GDP 総額及び一人当たり GDP(いずれも current price, ドル建て)を取り上げ、また成長率については前回の 2015 年 10 月版(以下 WEO2015Oct)と比較して世界主要国およびMENA諸国の経済状況の変化を検証する。

(日本だけが取り残され来年はマイナス成長の見込み！)

## 1. 2016/17年の経済成長率 (末尾表 1-B-2-08 参照)



### (1)世界および主要地域・国の経済成長率

IMFは今年(2016年)の世界の経済成長率を3.2%と見ており、来年(2017年)は今年よりも高い3.5%と予測している。地域別に見てもEUは今年の1.5%が来年は1.6%、ASEAN5か国も4.8%から5.1%へと上向き見通しを示している。

国別に見ても今年より来年の成長率が高い国が多く、米国は2.4%→2.5%、ドイツは1.5%→1.6%といずれもわずかながら成長率が上がるとされ、また韓国も2.7%→2.9%に上向きと予測している。これに対して日本と中国は今年よりも来年の成長率が低下すると予測しており、中国は6.5%→6.2%に低下、特に日本の場合は0.5%→マイナス0.1%と他に例を見ないマイナス成長になると見込んでいる。ロシアの予測が今年のマイナス成長から(-1.8%)から来年はプラス0.8%に改善するのとは対照的である。

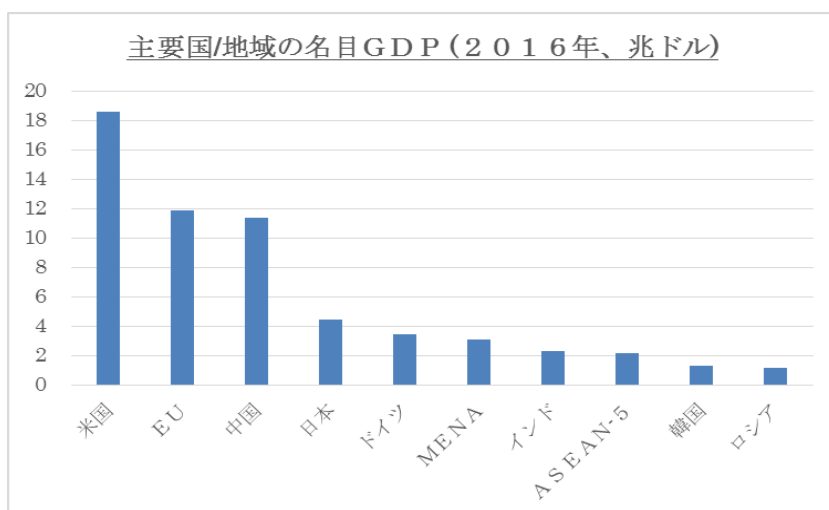
### (2)MENA諸国の経済成長率

IMFによれば今年のMENA(中東北アフリカ地域)の成長率は3.1%であり、来年は今年を上回る3.5%と見込んでいる。国別にみるとリビアがマイナス2.0%(16年)からプラス12.2%(17年)と大幅な上昇を予測しており、イエメンも0.7%→11.9%と見込まれている。但しリビアもイエメンも現在内戦状態で経済が深刻な状況である。IMFはこのような状況が変化すると見込んでいるようであるが、改善はかなり難しいであろう。

MENAの大国であるトルコ、イランおよびエジプトの今年・来年の成長率はトルコが3.8%→3.4%、イランは4.0%→3.7%、エジプトは3.3%→4.3%でありエジプトは好転すると予測されているが、トルコとイランは成長率が落ち込む見通しである。産油国のサウジアラビアは今年の1.2%から来年は1.9%に回復すると見込まれ、GCC6か国の平均でも今年の2.2%が来年は2.4%に上向き見通しである。歳入のほとんどを石油・天然ガスに依存しているGCC諸国は一昨年以降の価格急落により成長率が急速に落ち込んだが、IMFではGCC諸国が今年から来年にかけては低成長ながらも上向きと予測している。

(前回より下方修正された今年と来年の成長率！)

## 2. 前回(2015年10月)と今回(2016年4月)の比較 (末尾表 1-B-2-08 参照)



(1)世界および主要地域・国

上述のとおり今回(WEO2016Apr)の成長率の見通しは今年(2016年)が3.2%であり、来年(2017年)は3.5%である。これに対して前回(WEO2015Oct)の見通しでは2016年が3.6%、2017年は3.8%であり今回成長率はいずれも下方修正

されている。つまり2016年から2017年にかけて成長が高まるとの見通しに変わりはないが、加速の度合いが鈍っている。IMFは世界経済の回復が遅れると予測しているようである。

国別に見ても殆どの国が下方修正されている。日本の場合は今年の成長率は前回(2015年10月)の見通し1.0%が今回(2016年4月)には0.5%に下がっており、来年の成長率は前回のプラス0.4%が今回はマイナス0.1%とプラス成長からマイナス成長に変化している。米国の場合は今年(前回2.8%→今回2.4%)および来年(同2.8%→2.5%)といずれも下方修正されており、韓国、ロシアも同様である。そのような中で中国は今年見込み(6.3%→6.5%)、来年見込み(6.0%→6.2%)と上方修正されている。つい最近まで10%以上の成長率を誇っていた中国はここ数年毎年成長率が落ち込んでいたが、IMFは同国の景気が底を打つと見ているようである。

(2)MENA 諸国

MENA地域の成長率は2016年が前回の3.9%から3.1%に、また2017年も4.1%から3.5%へと大幅に下方修正されている。このうちGCC6カ国で見ても今年は3.1%→2.2%、来年は3.0%→2.4%であり、今年はMENA平均を上回る落ち込みが予想されている。

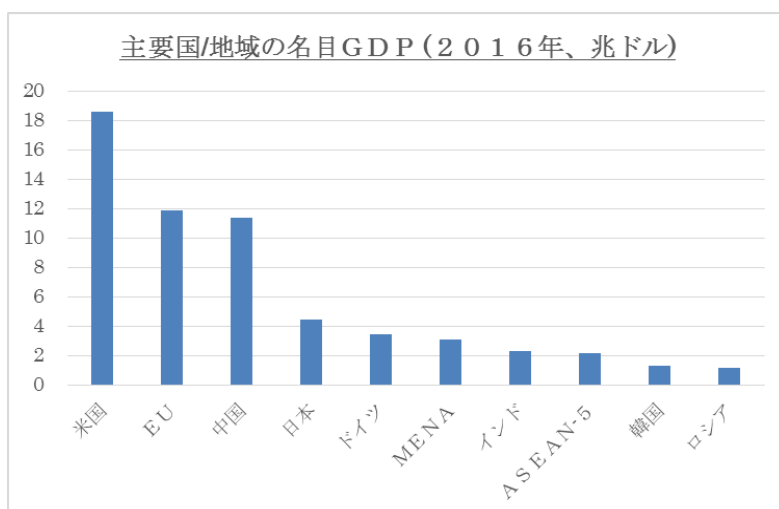
国別で見ると19か国すべての国が前回より下方修正されており、わずかにトルコとイラクが今年の、またリビアとイエメンが来年の成長率を上方修正しているだけである。主な国ではエジプトが今年(前回見通し4.3%→今回見通し3.3%)、来年(同4.5%→4.3%)とそれぞれ成長率が落ちる見通しであり、イランは今年(同4.4%→4.0%)、来年(同4.0%→3.7%)である。サウジアラビアは今年(同2.2%→1.2%)、来年(同2.9%→1.9%)といずれも成長率を1%下方修正している。トルコは今年の見通しは2.9%から3.8%に引き上げているが、来年については3.7%から3.4%に引き下げている。

(米国のGDPは全世界の4分の1！)

3. 2016年の各国の名目GDP (末尾表1-B-2-09参照)

IMFでは今年の世界の名目GDP(at Current Price)総額を74兆ドルと推定している。地域別ではEUが12兆ドル、全体の16%を占めている。またASEAN5か国は2.2兆ドル(全体の3%)、

MENA 地域は3. 1兆ドル(同4. 2%)である。



国別では米国が世界トップの19兆ドルで全世界に占める割合は25%、同国一国だけで世界のGDPの4分の1を生み出している。米国に次ぐGDP大国は中国の11兆ドルであり世界全体の15%を占めている。この2か国が世界でも突出している。第3位は日本(4.4兆ドル)であるが、米国の4分の1あるいは中国の3分の1にとどまっている。EUの

経済大国ドイツのGDPは3.5兆ドルであり、EU全体の3分の1を占めている。その他の主な国を見るとインドは2.3兆ドル、韓国1.3兆ドル、ロシア1.1兆ドルなどである。

MENA17カ国(エジプト、シリアを除く)の中で2016年の名目GDPが最も大きい国はトルコの7,500億ドルであり、サウジアラビアが6,200億ドルが続いている。この2カ国がMENAの合計GDPに占める比率はそれぞれ23%と19%であり、両国はMENA諸国の中では突出している。第3位はイランの3,900億ドル、第4位UAE(3,300億ドル)はいずれもトルコ或いはサウジアラビアの半分にとどまっている。

5位以下11位まではイスラエル(3,060億ドル)、カタール(1,710億ドル)、アルジェリア(1,660億ドル)、イラク(1,480億ドル)、モロッコ(1,080億ドル)、クウェイト(1,060億ドル)であり、以上10カ国が年間GDP1千億ドルを超える国々である。UAE、カタール、クウェイトなど人口の少ない産油国がイラン、イラクなど地域の大国と遜色のないGDPを誇っている。

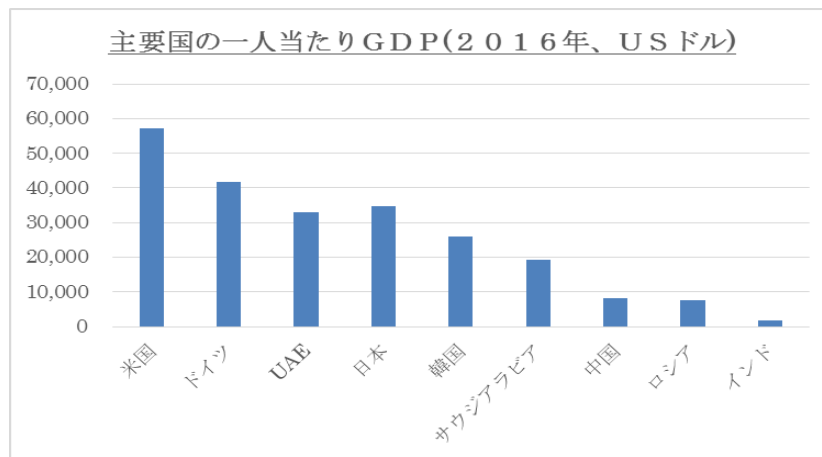
GDPが1千億ドル未満の国は、レバノン(530億ドル)、オマーン(520億ドル)、チュニジア(440億ドル)、ヨルダン(400億ドル)、リビア(390億ドル)、イエメン(370億ドル)、バハレーン(300億ドル)である。MENAでGDPが最も小さいリビア、イエメン、バハレーンはサウジアラビア或いはトルコの20分の1程度である。

(中国の一人当たりGDPはロシア以上！)

#### 4. 2016年の一人当たりGDP (末尾表 1-B-2-10 参照)

日本の一人当たりGDPは34,871ドル、米国は57,220ドル、ドイツは41,895ドルである。米国は日本の1.6倍、ドイツの1.4倍である。また韓国は25,990ドルであり、米国の2分の1以下、日本の8割弱である。BRICsと呼ばれる有力新興国の中国、ロシア、インドはそれぞれ8,240ドル、7,743ドル、1,747ドルである。ロシアは石油価格が高かった昨年までと様変わりし、今回は着実な経済発展を遂げる中国に追い抜かれている。インドは今年、来年と中国を上回る7.5%

の高い成長率が見込まれているが、一人当たり GDP はまだまだ低く、中国の5分の1、日本の20分の1、米国の30分の1に過ぎない。



MENA 諸国の一人当たり GDP は各国間の格差が極めて大きい。LNG の輸出で潤うカタールの一人当たり GDP 66,265ドルは米国をしのぎ日本の1.9倍で世界のトップクラスである。MENA で一人当たり GDP が1万ドルを超える国はカタールのほかイスラエル(35,

905ドル)、UAE(32,989ドル)、クウェイト(25,142ドル)、バハレーン(22,798ドル)、サウジアラビア(19,313ドル)、オマーン(13,060ドル)およびレバノン(11,484ドル)の8か国である。

上位7か国のうちイスラエルを除く6か国は GCC 諸国であり、石油あるいは天然ガスの恩恵を受けていることがわかる。特に6か国の中で人口がバハレーンに次いで少ないカタールは他を大きく引き離している。GCC6か国の平均一人当たり GDP は30,000ドルに達する。

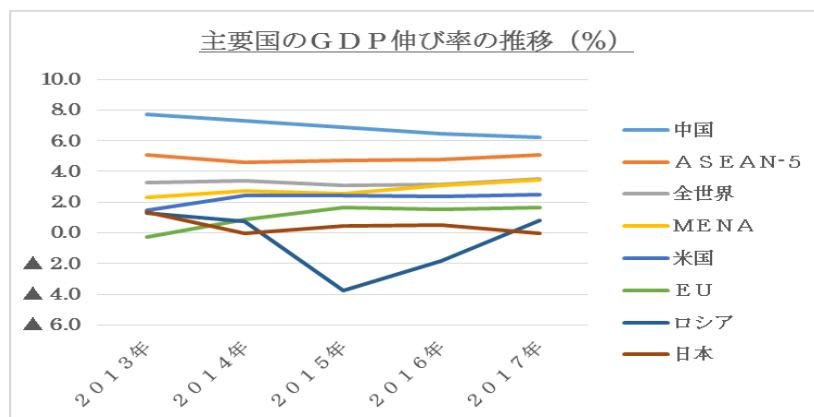
しかし同じ産油国でありながらリビア、イラン、イラク、アルジェリアなどは一人当たり GDP が5千ドル前後であり、GCC と大きな格差がある。MENA で最も貧しいのはイエメンであり同国の一人当たり GDP(1,281ドル)は実にカタールの50分の1以下にとどまっている。

なお一人当たりGDPは各国のGDP総額を人口数で割ったものであるが、IMF統計における計算の母数となる人口は特にGCC諸国の場合注意すべき点がある。例えばカタールの人口は約260万人で同国の一人当たりGDP66,265ドルは同国のGDP(1,710億ドル。前項参照)をその人数で割ったものである。しかし同国人口のうち80%以上は出稼ぎ労働者が占めており、カタール国籍を有する自国民は40万人足らずと言われる。通常、統計上の人口は国籍を有する者のみが対象で一時的な出稼ぎ労働者は含まないが、カタールの一人当たりGDPには出稼ぎ労働者も含まれており実態を正確には表していないと言える。このことは同じように外国人比率が高いUAE或いはクウェイトについても言えることであり、3分の1が外国人であるサウジアラビアの場合も程度の差はあれ同様である。

このような要素を加味してGDPを算出した統計は見当たらないが、カタール、UAE、クウェイトの実際の一人当たりGDPはIMF公表数値の数倍に達すると考えられ、これら湾岸産油国の一人当たりGDPが世界のトップクラスであることは間違いない。

(世界の平均伸び率は3%台前半で推移、低下し続ける中国！)

## 5. 世界および主要地域・国の GDP 成長率の推移(2013~2017年) (末尾表 1-B-2-11 参照)



### (1)世界および主要な地域・国

2013年(実績)から2017年(予測)までの5年間の経済成長率の推移を見ると世界全体では3%前半で推移しており今年(2017年)は3.2%、来年(2018年)は3.5%とみられている。

地域別で見るとEUは2013年は0.3%のマイナス成長であったが、2014年にプラス成長に転じ、2015年以降は1.5%程度で推移している。2013年に5.1%の成長率を達成したASEAN-5か国はその後他の地域を大幅に上回り5%前後の安定した成長を続ける見通しである。産油国を多く抱えたMENA地域は石油価格の低迷により2013年から2015年までは2%台の成長にとどまっているが、今年および来年は3%以上の成長が見込まれている。

主要国では日本の成長率は2013年の1.4%から2014年にはマイナス成長に低下、その後の2015年、16年も0.5%の成長にとどまる。そして来年は再びマイナス成長に落ち込むと予測されており、先進国の中でも低成長にあえいでいる。これに対して米国の経済は先進国の中でも特に好調であり2014年以降は2%台半ばのプラス成長が見込まれている。

中国は2013年および14年の成長率が7%台であったが、2015年以降は6%台に低下しており、5年間でみると2013年の7.7%が2017年には6.2%と毎年成長率が鈍化している。これとは逆にインドは5年間で6.6%(2013年)→7.2%(2014年)→7.3%(2015年)→7.5%(2016&17年)と2015年には中国の成長率を上回ると共に5年間を通じて年々成長率が加速している。ロシアは2015年に3.7%のマイナス成長に陥り、今年もマイナス1.8%と見込まれ、来年漸くプラス成長に転ずる見通しである。

### (2)MENA諸国

MENAでGDPが最大のトルコは2013年の経済成長率が4.2%であった。その後成長率は鈍化したが2015年以降は3%台の安定成長を維持している。世界最大の産油国でトルコに次ぐGDP大国であるサウジアラビアの5年間の成長率(実績・予想)は2.7%(13年)→3.6%(14年)→3.4%(15年)→1.2%(16年見込み)→1.9%(17年予想)であり、油価が急騰した2010年代前半のような大きな伸びは期待できない。

サウジアラビアを含むGCC6か国の平均成長率も3.8%(13年)→3.3%(14年)→3.1%(15年)→2.2%(16年見込み)→2.4%(17年予想)と今年および来年の成長率は従来に比べてかなり低い水準になりそうである。同じ産油国でもイランは2013年の1.9%のマイナス成長から2014年以降はプラス成長に転じており、特に経済制裁解除後の今年および来年は4%前後の成長が見

込まれている。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行      〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp

**MENAと世界主要国の GDP 実質成長率(2016-17年)**

国名	2016年4月見通し(今回)			2015年10月見通し(前回)		前回/今回比較	
	2016年成長率(%)	2017年成長率(%)	増減	2016年成長率(%)	2017年成長率(%)	2016年成長率(%)	2017年成長率(%)
アルジェリア	3.4	2.9	▲ 0.4	3.9	3.9	▲ 0.5	▲ 1.0
バーレーン	2.2	2.0	▲ 0.1	3.2	2.8	▲ 1.1	▲ 0.8
エジプト	3.3	4.3	1.0	4.3	4.5	▲ 1.0	▲ 0.2
イラン	4.0	3.7	▲ 0.2	4.4	4.0	▲ 0.4	▲ 0.3
イラク	7.2	3.3	▲ 3.9	7.1	8.1	0.1	▲ 4.8
イスラエル	2.8	3.0	0.2	3.3	3.2	▲ 0.4	▲ 0.2
ヨルダン	3.2	3.7	0.5	3.7	4.5	▲ 0.5	▲ 0.8
クウェイト	2.4	2.6	0.2	2.5	2.7	▲ 0.1	▲ 0.1
レバノン	1.0	2.0	1.0	2.5	3.0	▲ 1.5	▲ 1.0
リビア	▲ 2.0	12.2	14.3	2.0	6.0	▲ 4.0	6.3
モロッコ	2.3	4.1	1.9	3.7	4.8	▲ 1.4	▲ 0.7
オマーン	1.8	1.7	▲ 0.1	2.8	2.0	▲ 1.0	▲ 0.3
カタール	3.4	3.4	0.0	4.9	4.2	▲ 1.5	▲ 0.7
サウジアラビア	1.2	1.9	0.7	2.2	2.9	▲ 1.0	▲ 1.0
シリア	n/a	n/a	-	n/a	n/a	-	-
チュニジア	2.0	3.0	1.0	3.0	4.0	▲ 1.0	▲ 1.0
トルコ	3.8	3.4	▲ 0.4	2.9	3.7	0.9	▲ 0.3
UAE	2.4	2.6	0.3	3.1	3.3	▲ 0.8	▲ 0.6
イエメン	0.7	11.9	11.3	11.6	8.3	▲ 10.9	3.6
(GCC6カ国平均)	2.2	2.4	0.2	3.1	3.0	▲ 0.9	▲ 0.6
全世界	3.2	3.5	0.4	3.6	3.8	▲ 0.4	▲ 0.3
EU	1.5	1.6	0.1	1.9	2.0	▲ 0.4	▲ 0.3
ASEAN-5	4.8	5.1	0.3	4.9	5.3	▲ 0.2	▲ 0.2
MENA	3.1	3.5	0.3	3.9	4.1	▲ 0.8	▲ 0.7
日本	0.5	▲ 0.1	▲ 0.5	1.0	0.4	▲ 0.5	▲ 0.5
米国	2.4	2.5	0.1	2.8	2.8	▲ 0.4	▲ 0.3
ドイツ	1.5	1.6	0.2	1.6	1.5	▲ 0.1	0.1
ロシア	▲ 1.8	0.8	2.7	▲ 0.6	1.0	▲ 1.2	▲ 0.2
中国	6.5	6.2	▲ 0.3	6.3	6.0	0.2	0.2
インド	7.5	7.5	0.0	7.5	7.5	▲ 0.0	▲ 0.0
韓国	2.7	2.9	0.2	3.2	3.6	▲ 0.5	▲ 0.7



**2016年 GDP at Current Price(2016年4月値)**

順位	国名	10億ドル	%
1	トルコ	751	22.7%
2	サウジアラビア	618	18.7%
3	イラン	386	11.7%
4	UAE	325	9.8%
5	イスラエル	306	9.2%
6	カタール	171	5.2%
7	アルジェリア	166	5.0%
8	イラク	148	4.5%
9	モロッコ	108	3.3%
10	クウェイト	106	3.2%
11	レバノン	53	1.6%
12	オマーン	52	1.6%
13	チュニジア	44	1.3%
14	ヨルダン	40	1.2%
15	リビア	39	1.2%
16	イエメン	37	1.1%
17	バーレーン	30	0.9%
	エジプト	n/a	
	シリア	n/a	
	合計	3,314	100.0%
	(GCC6カ国合計)	1,302	39.3%
	全世界	73,994	100.0%
	EU	11,853	16.0%
	ASEAN-5	2,168	2.9%
	MENA	3,071	4.2%
	日本	4,413	6.0%
	米国	18,558	25.1%
	ドイツ	3,468	4.7%
	ロシア	1,133	1.5%
	中国	11,383	15.4%
	インド	2,289	3.1%
	韓国	1,321	1.8%

**2016年一人当たりGDP(2016年4月値)**

順位		国名	USDドル
1	Qatar	カタール	66,265
2	Israel	イスラエル	35,905
3	UAE	UAE	32,989
4	Kuwait	クウェイト	25,142
5	Bahrain	バーレーン	22,798
6	Saudi Arabia	サウジアラビア	19,313
7	Oman	オマーン	13,060
8	Lebanon	レバノン	11,484
9	Turkey	トルコ	9,562
10	Libya	リビア	6,158
11	Jordan	ヨルダン	5,705
12	Iran	イラン	4,799
13	Iraq	イラク	4,115
14	Algeria	アルジェリア	4,083
15	Tunisia	チュニジア	3,919
16	Morocco	モロッコ	3,196
17	Yemen	イエメン	1,281
	Egypt	エジプト	n/a
	Syria	シリア	n/a
		GCC6カ国平均	29,928
		日本	34,871
		米国	57,220
		ドイツ	41,895
		ロシア	7,743
		中国	8,240
		インド	1,747
		韓国	25,990

**GDP 対前年伸び率(%、2016年4月値)**

国名	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
アルジェリア	2.8	3.8	3.7	3.4	2.9
バーレーン	5.4	4.5	3.2	2.2	2.0
エジプト	2.1	2.2	4.2	3.3	4.3
イラン	▲ 1.9	4.3	0.0	4.0	3.7
イラク	6.6	▲ 2.1	2.4	7.2	3.3
イスラエル	3.3	2.6	2.6	2.8	3.0
ヨルダン	2.8	3.1	2.5	3.2	3.7
クウェイト	1.0	0.0	0.9	2.4	2.6
レバノン	2.5	2.0	1.0	1.0	2.0
リビア	▲ 13.6	▲ 24.0	▲ 6.4	▲ 2.0	12.2
モロッコ	4.7	2.4	4.5	2.3	4.1
オマーン	4.7	2.9	4.1	1.8	1.7
カタール	4.6	4.0	3.3	3.4	3.4
サウジアラビア	2.7	3.6	3.4	1.2	1.9
シリア	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a
チュニジア	2.4	2.3	0.8	2.0	3.0
トルコ	4.2	2.9	3.8	3.8	3.4
UAE	4.3	4.6	3.9	2.4	2.6
イエメン	4.8	▲ 0.2	▲ 28.1	0.7	11.9
(GCC6カ国平均)	3.8	3.3	3.1	2.2	2.4
全世界	3.3	3.4	3.1	3.2	3.5
EU	▲ 0.3	0.9	1.6	1.5	1.6
ASEAN-5	5.1	4.6	4.8	4.8	5.1
MENA	2.3	2.8	2.5	3.1	3.5
日本	1.4	▲ 0.0	0.5	0.5	▲ 0.1
米国	1.5	2.4	2.4	2.4	2.5
ドイツ	0.4	1.6	1.5	1.5	1.6
ロシア	1.3	0.7	▲ 3.7	▲ 1.8	0.8
中国	7.7	7.3	6.9	6.5	6.2
インド	6.6	7.2	7.3	7.5	7.5
韓国	2.9	3.3	2.6	2.7	2.9